下まわっても赤血球アセチルコリンエステラーゼ (AChE) 活性値は基準値内であるものが多いが, 血清 BuChE 活性値が高度に阻害された場合は赤血球 AChE 活性値も基準値以下に低下した。一方, 有機リン系殺虫剤の急性中毒症状を訴えるものは認めなかった。血清 BuChE 活性値が著しく低下していた6名の白蟻防除作業 (0.01 ~ 0.21 Δ pH) の検討では, 赤血球 AChE 値は3名が基準値以下に低下していた。血中クロルピリホス量は4名に認められ, 2 ~ 8 ng/ml であった。末梢運動神経伝導速度では, 2名が左脛骨神経で基準値を下まわった。末梢知覚神経伝導速度では, 6名とも両側腓腹神経で基準値を下まわった。眼科的検査では, 4名に調節時間の延長, 2名に網膜電位図上 OP (Oscillatory potential) 波の消失がみられた。以上よりクロルピリホス曝露を受けている白蟻防除作業において, 血清 BuChE 活性値および末梢知覚神経伝導速度は, クロルピリホスの曝露指標として有効であるばかりでなく, 健康影響指標としても有効であると考えられた。

(*J Occup Health* 2001; 43: 157-164)

通信先: 五藤雅博, 〒488-8585 愛知県尾張旭市平子町北61 旭労災病院

Occupational Health Practice in Greece

Theodore BAZAS

ギリシャの労働衛生事情

ギリシャでは, 57.7%がtertiary sectorに雇用され, 毎年20,000件の労働災害が発生するが職業病はまれである。400名の企業医の約10%が産業医学の専門家である。数社の大企業では産業安全衛生活動は高度であるが, 中小企業に対する特殊・一般検診, 労働衛生サービスの供給を拡大する必要がある。産業安全衛生法規の整備が進んでいるが, 事業者の法的責任は不適切であり, その原因の一つに監督官の慢性的な不足がある。教育訓

練のレベルは様々であるが, 最近産業衛生に関する書物が出版されるなど, 進歩してきている。

(*J Occup Health* 2001; 43: 165-167)

通信先: T. Bazas, Central Council of Health, Greek Ministry of Health and Welfare, Yakinthon Street, 154 52 Psychico, Athens, Greece

Acute Methemoglobinemia—A Common Occupational Hazard in an Industrial City in Western India

Aruna DEWAN, Ashwin PATEL and

Habibullah SAIYED

インド西部の工業都市における産業疾患—急性メトヘモグロビン血症について—

1993年から1999年までの6年間にインド国立産業医学研究所の中毒情報センターに報告された急性メトヘモグロビン血症症例を調査した。中毒事故の総数は1067件で, そのうち急性メトヘモグロビン血症は30件だった。4件は事故で1件は自殺目的であったが, 残りの25件は産業曝露によるもので, 原因物質の多くは染料合成の際に中間物質として使用されるアニリン, ニトロベンゼンなどの芳香族ニトロ化合物であった。またこれらの症例を詳細に検討するとメトヘモグロビン血症は特殊な産業現場, すなわち原因化学物質の付着している廃棄プラスチック容器の洗浄を行っている作業者に多く見られるとしている。また規模の小さい化学工場や個人経営工場においてこれら毒性のある化学物質を扱っている労働者は急性メトヘモグロビン血症を起こす可能性が高いと警告している。

(*J Occup Health* 2001; 43: 168-171)

通信先: A. Dewan, Incharge Poison Information Centre, National Institute of Occupational Health, Meghani Nagar, Ahmedabad 380016, India

第119回日本医学会シンポジウム

日時: 平成13年6月29日(金) 10:00 ~ 17:00

場所: 日本医師会館 大講堂

参加費: 不要

問い合わせ先: 日本医学会

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16

日本医師会館内

TEL 03-3946-2121(代)